

令和2年度（2020年度）学校版環境ISOへの取組

< 多良木町立多良木中学校 >

1 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会の環境委員会で、昨年までの環境宣言を踏襲することを決めた。 ・生徒会の環境委員会を基に意見を出し合い、生徒主体で月ごとの年間計画を立てた。 ・節電、節水、学級花壇整備、黙働清掃、コミュニティスクールの「環境美化」コミュニティと連携した地域清掃・美化活動、PTA と連携した親子美化作業（草払い、石拾い、溝掃除等）、生徒会のボランティア委員会主催のペットボトルキャップ収集等に力を入れた。
行動		<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策のために、窓を開けたままのエアコン使用に伴う電気代が急増したので、節電強化週間を設けてクサマッヂを実施するなどして、細かな節電に心がけた。 ・節水については前年度に引き続き、歯磨きや掃除中の節水に心がけた。新型コロナウイルス対策により、手洗い強化のための水使用は増えたが、その他の節水は十分にできた。 ・校内美化（すみずみまでの掃除、整理等）については、おしやべりをしないで掃除に集中する（黙働清掃）クサマッヂを実施し、大きな成果を上げた。 ・コミュニティスクールの「体験活動」部会や「環境美化」部会との連携により、学年単位で生徒全員が地域に出かけ、地域の方々と清掃活動（草払い、ゴミ、空き缶、ペットボトル集めなど）をし、環境保全意識を高めた。 ・町会議員や地域の方々が生徒の要望に基づいて通学路の草刈りなどの整備を実施した。 ・ペットボトルキャップ集め（生徒会ボランティア委員会主催）を年2回実施した。

<p>記録</p>	  	<ul style="list-style-type: none"> ・職員による校内クリーン活動（不要物の廃棄など）を年２回実施して、整理・整頓をした。 ・ボランティア委員会による学級花壇整備を実施した。 ・「節電クラスマッチ」など、活動中の写真撮影の記録を忘れた行事があった。年間に取り組む環境関係の行事が多いので、今後はあらかじめ担当者を設置して確実に記録に残していきたい。
<p>見直し</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・環境 ISO 委員会の役割は本校では生徒会の環境委員会とボランティア委員会（担当教師合計４名）が担っているが、この２つの委員会を中心とした「環境 ISO 委員会」を立ち上げたい。

２ 成果と課題

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・エアコンや電灯の節電については生徒会環境委員会で企画計画し、節電期間を設けてクラスマッチ形式で取り組んだ結果、校内の節電意識が高まった。 ・コミュニティスクールの「体験活動」部会や「環境美化」部会との連携で、学年毎に地域に出かけて清掃活動を実施し、地域の環境を守り美しくする意識が高まった。 ・昨年に引き続き、区長や町会議員による通学路の危険箇所の整備（草刈り等）を実施（10月10日）したが、今年は初めて生徒の要望を基にして数カ所で行われ、整備後はその様子を校内放送で生徒に伝えることで、生徒は感謝の念を抱いた。 ・学校内の美化については、「黙働清掃」（しゃべらないで掃除に集中する）強化期間を設け、掃除への集中や掃除の大切さを促す「プラカード」を作って各掃除箇所を回り、校内の美化意識を高めた。 ・学級花壇を有効利用することで、生徒・職員の ISO 意識を高めた。 ・ボランティア委員会ではペットボトルキャップの収集活動を実施し、ゴミ問題やリサイクル意識を高めた。 ・資源の有効活用を促すために、職員の「裏紙使用」意識を高め、段ボール箱のリサイクル活動を継続することができた。 ・職員の使用後のペットボトルについては、これまでは可燃物処理のビニール袋に捨てていたが、今年からは持ち帰って処理することを促し、学校が出すゴミを減らした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策により、節電・節水については今年度の実績を基にして、新たな目標を立て直して来年度の目標を掲げること。 ・新型コロナウイルス対策として ZOOM 使用の機会が増加したが、それに伴う各種機器のスイッチの切り忘れが散見されるようになった。今後は教師と生徒と一体となって節電意識の高揚に努めることが課題となる。 ・環境委員会とボランティア委員会を合わせた校内 ISO 委員会の立ち上げを急ぐこと。年度内に構想を練り、新年度の４月を目処としたい。 ・新年度からは ISO 宣言について、参考資料を基に本校の実態に合った宣言を作成すること。 ・各種行事について、生徒の積極的参加を促すため、その意義や内容を放送やチラシで伝える活動を強化すること。その活動を 100% 生徒主体でできるようにすること。 ・職員の出す使用済みペットボトルのリサイクル方法については、学校として取り組むことができないかを検討すること。その際、家庭にも呼びかけて、町全体の意識を高める活動を生徒会として取り組むことも検討したい。 ・環境委員の活動に対する全校生徒や職員の認知度の低さがアンケートにより判明した。今後は活動の事前事後の情報宣伝の活動を強化して、学校全体の環境意識を高めたい。